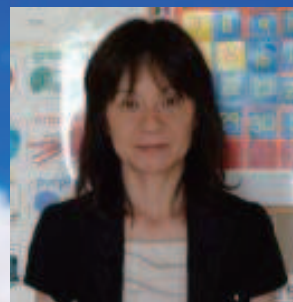


今回は、現在枚方市の小学校でJTE(英語活動助手/英語が堪能な地域人材、主に日本人を指す)として活躍、またJTEの研究会を立ち上げてJTE同士の連携を図りながらより良い指導法の研究や教員研修などを数多く担当されているトレーナーさんからの実践報告です。

松延亜紀 さん



Kids English House 英語教室講師
J-SHINEトレーナー資格保持者
大阪府枚方市JTE

J-SHINE 通信

2013年8月号

■教えるために学び続けた15年

15年前、子育てをしながら翻訳の勉強をしていた私は友人に頼まれて子どもに英語を教え始めました。家庭教師の経験しか無かったので指導に不安を感じ、「子どもの英語教え方教室」講座を受講しました。その講座の担当講師を通じて mpi (旧松香フォニックス研究所)ではいろいろな指導者向けセミナーが開催されていることを教えていただき、早速講座を受講し勉強させて頂くことになりました。

教室を始めて5年ほどしてJ-SHINEの資格取得講座が開講されることを知りました。児童英語講師として「公教育でどんな英語が始まるのか」は知っておく必然性を感じて、資格を取りました。その直後、息子の担任の先生からの依頼で、英語指導ボランティアとして小学校の授業に関わる機会を得ました。自宅教室とは違い、大人数を指導することの難しさを感じつつも、小学校で英語活動を行う意義も感じました。その後、友人から枚方市でJTEを募集していることを聞き、応募しました。当初は文科省配布の「英語ノート」や「Hi, friends!」はもちろんのこと、指導書なども無かったので、指導内容はJTEに一任されていました。担任の先生とのチームティーチングでの授業を目指し、「担任の先生がT1(主の指導者)で進められる授業」作りを担任の先生と試行錯誤で進めていきました。

夏休みに教員を対象とした研修を頼まれる機会が増えてきたこともあり、実践を裏付ける理論を身につけるべくトレーナー検定試験に向けて準備し、トレーナー資格を取得しました。長年子どもたちに英語を教えながら、同時に私自身が「学生時代以上に日々意欲的に学んでいる」ということを実感しています。

■現在の活動状況

枚方市でJTEとして外国語活動のお手伝いをさせて頂いて7年目になります。枚方市は全校にJTEを配備し担任(T1)のチームティーチングで外国語活動を進めています。長年の取り組みの甲斐があり、担任とJTEとのチームティーチングが効果的に機能しています。専門的な知識を持ったJTEが子どもたちにより多くの英語を聞かせる機会を与え、その事で子どもたちに負担を与えないように担任の先生が子どもたちをうまくフォローしてくださっています。週に一度だけクラスの子どもたちと接するJTEには子どもたちの日常を理解するのはなかなか難しいです。言葉の気付きを与え、コミュニケーション力を育てる外国語活動では子どもたちを主体的に動かす工夫が必要です。そのためには子どもたちの日常を把握している担任の先生の存在は不可欠だと考えます。

これまではJTEが指導案を作成して一方的に説明するだけでしたが、最近は担任の先生に活動目的を伝え、授業の流れを一緒に考えていただく時間も増えてきました。本当の意味でのチームティーチングの形が取れてきたと思います。

数年前JTEの仲間たちと意味のある活動を繋げたよりよい授業づくりを目指してJTEの研究会を立ち上げました。最近では他市からも研究会を見学に来られることもあります。地域を超えてJTE同士で連携を取り、お互いに協力し合って、より良い指導法を考えていけたらと思います。今年はハワード・ガードナー氏が提唱する“The Multiple Intelligence”(MI理論)*1を取り入れて子どもたちそれぞれの個性が生きる外国語活動を目指した取り組みを進めています。

私たちが現場で効果的な活動を実践して行くことで「外国語活動の意義」を先生方と共有していければチームティーチングの指導も生きてくると思います。また、それが近隣他市、日本全国に波及して行くことを願っています。

■今後の展望

昨年よりJ-SHINE自主開催講座の講師の機会を得、今年6月にJ-SHINE創立10周年記念事業*2の大阪フォローアップ研修講座に関わりました。9月には京都*3、10月には徳島*4に伺います。記念事業のスタートとなった大阪講座は定員を超え、9月の京都も順調に申し込みを頂いています。いつも以上の関心の高さに身が引き締まる思いです。私はその講座で小学校現場の様子をお伝えします。これから子どもたちが身に付けていくべき力について参加者の皆さんと共に考える場になればと思います。

今後外国語活動を取りまく環境が変わることがあっても、「外国語活動指導支援者」としていつでも授業のお手伝いができるように情報収集と指導のスキルアップを続ける必要を感じます。子ども指導のプロである小学校の先生は英語の授業でもその力にますます磨きを掛けています。JTEとしてその先生方をサポートする形も変わっていくと思います。子どもたちの為に自己研鑽していきましょう。

*1 MI理論

「知能は単一ではなく、複数ある」「人間は誰しも複数(現在は8つ)の知能を持っている。長所やプロフィールが個人によって違うように、人によってある知能が強かったり、ある知能が弱かったりする」という考え方です。人間の知能についての研究はまだ完成されているわけではありませんが、このMI理論は現在、世界各国の教育現場やビジネスの世界で取り入れられています。

*2 J-SHINE 創立 10 周年記念事業

<http://www.j-shine.org/anniversary.html>

*3 京都フォローアップ研修講座

http://www.j-shine.org/files/kyoto_t.pdf

*4 徳島フォローアップ研修講座

http://www.j-shine.org/files/tokushima_t.pdf